

〔令和4年度 学校関係者評価〕

まとめ

項目	自己評価	適/不適	評価	評価に係る提言・今後の改善等
(1) 教育理念・目標	3.9	適切	<ul style="list-style-type: none"> ・流行に敏感で、且つ柔軟に対応されて良いと思う。 ・日本のIT現状をよく把握しようと努め、卒業後、IT技術者として即戦力となるような人材育成を実施している。 ・生徒の意向を引き出すための度量の広い校風は理念と合致していると感じるが、社会の求める理念や目標なのか点検する必要性を感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も現在の方針に従い、研鑽を怠らないことが重要。 ・多様性を尊ぶ社会に大きく変化しており、生徒や保護者の価値観、企業の求める卒業生像を改めて確認し、「不易」と「流行」を明確にした改革に期待する。 ・安心・安全な社会を構築するための教育（技術者モラル・著作権・セキュリティなど）にさらに力を入れたものを目指してほしい。
(2) 学校運営	4.0	適切	<ul style="list-style-type: none"> ・適切な運用だと思う。 ・令和4年度もコロナが蔓延する中で、出来る限りの教育を実施し、多くの情報処理試験合格者と卒業生を送り出したことは評価に値する。 ・時代のニーズを探りながら、新しい取り組みや外部との連携を積極的に試み、常に変わり続ける柔軟性を感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・評価は結果をみてのものだが、その過程がどのようなものであったかの報告が欲しい。 ・スピードが早い社会の変化に対応することも重要だが、「変わらない学校運営の軸」をなお一層明確にする必要がある。 ・業界や地域社会に対する貴学の存在価値を高めるさらなる努力をしてほしい。
(3) 教育活動	3.6	適切	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年、社会的に利用されているIT技術についてカリキュラムを変更しなおし、コロナ禍であっても適切な教育活動ができています。 ・資格取得を中心として、安定した就職率の維持が達成できているのは素晴らしいと思う。急速な技術の革新に対応するためにも、基礎的な能力育成も必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・資格の合格率はある種学校のステータスになることは理解しています。ただ、対策に力を入れる必要性については少し疑問をおぼえます。試験の結果は実力を図るエビデンスとして捉えた場合、対策による結果と実力による結果はイコールではないと考えています。 ・ChatGPTに代表される生成系AIを利用してレポートや宿題を作成する学生が生じる可能性があり、そこに対策をとらないと「考えない」技術者がうまれてしまうかもしれないという危機感を持ってほしい。 ・実践的で専門的な職業教育は、体系付けたカリキュラムが必須と感じる。また、コミュニケーション能力や課題解決能力の育成も必要だと思う。 ・さらに活性化した教育活動を行う努力をしてほしい。

項目	自己評価	適/不適	評価	評価に係る提言・今後の改善等
(4) 学修成果	3.9	適切	<ul style="list-style-type: none"> • 優秀な学生が多く、学校での雰囲気作りが有効になっていると考えています。訪問させて頂く際に、教師との距離感が非常に良いと感じている。 • 卒業生の割合、情報処理試験の合格者や就職率をみれば大いに評価できる。 • 生徒の特性が生きる就職を、教職員全体で熱心に取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> • 変化の激しい時代に対応するためにも、キャリア形成に関する教育も今後は必要になってくると思われる。
(5) 学生支援	3.8	適切	<ul style="list-style-type: none"> • 就職に対する専任スタッフや就活に対するの対応を行っており。結果としても高い就職率を達成できている結果につながっているものと判断できる。 • 多様化した生徒を受入れる環境を整備し続けている。 	<ul style="list-style-type: none"> • 同年代はいくつになっても同年代で、横の繋がりの強化が大分を支える力を生み出すことになると思いますので、そのあたりのイベントを考えて頂けると嬉しい。 • 生活指導のカウンセラーを設けていることが大いに評価できる。学生でありながらも、1人の人間としての育成も心がけており、今後も続けてほしい。 • 多様化した生徒に寄り添った対応を教職員全体で連携し、組織で対応している。
(6) 教育環境	3.8	適切	<ul style="list-style-type: none"> • 自校教員だけではなく、地元のIT企業より講師を招き、現場に近い立場の人間が教育を行う科目も用意していることにより、実学の機会が大いに提供されている。 • 計画的な教育設備の補修や改善は地味な取り組みであるが、学校の魅力に繋がっている。 	<ul style="list-style-type: none"> • インターンシップの体制強化が必要だと思います。 • 講師派遣に協力してくれる企業がもう数社増えるとさらに充実もするかもしれない。また毎回学校に来てもらうだけではなく、逆に企業にお伺いして現場を見てもらう機会があってもよいかもしれない。 • ICT機器を活用したりリモート授業の可能性は継続して検証する必要があると感じる。多様な生徒を受入れるためにも必要になると思われる。 • 学外、地域社会での学生の学びにさらに力を入れてほしい。

項目	自己評価	適/不適	評価	評価に係る提言・今後の改善等
(7) 学生の受入れ募集	3.9	適切	<ul style="list-style-type: none"> 適切な運用だと思います。 欠員は少なく、学びたい学生を受け入れる体制は出来てると評価できる。 積極的に早い時期からの定期的な体験入学やオープンキャンパスは、入学希望者とのミスマッチを減らしていると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> オープンキャンパスや入学体験などでこのような学生生活や学習ができますよ。だけでなく、その先に自分がどのような社会人となり活躍できるかの道筋が思い描けるような体験活動をさせてはいかがだろうか。 Webを中心とした情報発信も軌道に乗り始めている。継続した運用の体制づくりが更に進むことを期待する。
(8) 財務	3.8	適切	<ul style="list-style-type: none"> 適切な運用だと思います。 資金収支計算書を見る限りでは十分な資金が用意されているので問題ないと判断できる。 	
(9) 法令等の遵守	4.0	適切	<ul style="list-style-type: none"> 適切な運用だと思います。 学校法人、教員、学生いずれにおいても悪い話は聞いたことがないので問題ないと判断できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 学生において法令遵守することの大切さを生活指導の場でもよく説明を実施してほしい。社会に出たときに個人プライバシーをはじめとする情報を扱う大切さが身についたまま企業に来てくれるのは喜ばしいことだと思う。
(10) 社会貢献・地域貢献	4.0	適切	<ul style="list-style-type: none"> 適切な運用だと思います。 大分県下の高校、企業とも交流があり、IT人材を供給し続けているというだけでも十分社会貢献できていると評価できる。 高等学校等への「出前授業」は、受入校の抱える問題の解決にも繋がっている。 学生が市民向けの講座の補助を積極的に行っており適切と考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校や教員の立場での社会貢献・地域貢献もだが、学生に社会貢献・地域貢献の意味を理解してもらう活動として春日近辺の定期的な清掃活動などは今後も続けてほしい。またその活動に全員が参加するように指導していただきたい。 「出前授業」は地域に根差した専門学校ならではの取組みである。更に受入校が増えることを願う。 さらに、職員・学生が主体となった、学院が持つ教育的資源を地域にフィードバックする努力をしてほしい。
(11) 国際交流	—	—	— —	

<平均> 3.9